



Miyagi Information Service Industry Association

- 新春講演会・賀詞交歓会
- 2019年度MISA事業計画
- 委員会活動報告
- 新入会員紹介

■発行/一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台5F 【TEL】022 (217) 3023 【FAX】022 (217) 3055 【E-mail】misa@misa.or.jp
■URL/http://misa.or.jp ■企画・編集/広報委員会 ■印刷/ハリウ コミュニケーションズ株式会社

MISAフォトコンテスト『宮城の平成を振り返って……』
平成最後のグランプリ作品



賀詞交歓会開催

新春恒例の賀詞交歓会が平成31年1月11日(金) TKP ガーデンシティ仙台において東北経済産業局、宮城県、仙台市、関係団体からのご来賓を含め、会員皆様300名近くの出席のもと開催されました。

はじめに、協会を代表し早坂会長より、新年の挨拶があり、一般財団法人日本シーエスアール登録機構代表理事の土屋慶三氏に「業界団体がマネージメントするISMSの価値とその認証」と題して、マネージメントによってもたらされる価値、セキュリティ管理の重要性等、ICT産業の活性化に向けた貴重な講演を頂きました。引続き交流会に入り、ご来賓の皆様よりご祝詞をいただいた後、当協会顧問・東

北大学副学長青木氏の乾杯の音頭により懇談となりました。

景気回復の兆しが見えてきた中、新春独特の華やかさも加わり、これまでになく多くの参加をいただき始終和やかな雰囲気の中、会員相互の情報交換や親睦を深める場となりました。中締めは阿部副会長に三本締めの音頭をとっていただき盛況裏に終了することが出来ました。ご来賓、そして会員の皆様の多数ご出席いただきましたこと、心より御礼申し上げます。



新春講演会・賀詞交歓会 会長挨拶

一般社団法人 宮城県情報サービス産業協会 会長 早坂 栄二



皆さん、明けましておめでとうございます。

宮城県情報サービス産業協会会長を仰せつかっている早坂でございます。一言ご挨拶申し上げます。

本日は、新春講演会並びにMISA賀詞交歓会に、ご来賓の皆様を始め多数の会員の皆様にご参加いただきまして誠に有り難うございます。

また、旧年中は、質、量ともに一段と活発化し発展した当協会の事業活動に対しまして、経済産業局、宮城県、仙台市など公共関連機関、大学の皆様、そして会員の皆様の格段のご支援ご協力を賜りました。改めて深くお礼を申し上げます。ありがとうございました。

世界の動きをみますと、このところ拡大を続けてきた世界経済ですが、米中間の貿易戦争、そしてイギリスのEU離脱による景気減速予想などもあって「世界経済の拡大はピークを越えた」とか、「世界全体が同時減速する」といった可能性も言われはじめました。

特に大きな影響を与えそうなのは「米中間の貿易戦争」ですが、どうもこれは、見方を変えれば、「新技術とりわけICTをめぐる戦い」のような気がいたします。

昨年のこの場で次世代通信規格(5G)の講演をいただき、そのインパクトの大きさを共通認識したわけですが、それに対して、アメリカが「国策」として中国の通信

機器大手ファーウェイ、ZTEの利用を全面禁止する動きをとり、世界の政治やビジネスに大きな影響を広がっているのはご承知の通りです。

そしていま世界を舞台として、アメリカの代表的な超巨大IT企業群の「GAFA」(グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾン)と、同じく中国の「BAT」(バaidu、アリババ、テンセント)が、ICTによる社会やビジネスのイノベーションをめぐる覇権争いを演じています。それぞれが、膨大な投資を繰り広げ、世界市場での主導的な地位を築くべく、熾烈な競争や戦略的な連携等を行っています。これらは単純な対立構図ではなく、相互依存・補完的でもあります。

また大胆なイノベーションが実現される一方、サイバーセキュリティ・知的所有権も含めた国の安全保障、個人の情報保護、頻発するサイバー犯罪、そしてサービスやデータの独占支配など影の問題も看過できない大きなものになっています。

こうしてみると、ICTは政治、経済、ビジネスの面で、世界、そして日本を動かす鍵になっていることを改めて実感します。

これらの複雑でめまぐるしい動向(決して光だけでも影だけでもない)を、対岸の火事としてではなく、しっかり見極め、適切に対応していく必要があります。

次に、我々の情報サービス産業について考えてみます。

現在、我が国の情報サービス産業は、売上高 21 兆円、従業員 101 万人を抱える基幹産業となっています。社会の情報インフラを構築・運用する重要な役割を担っています。

宮城県においても同様であり、売上 2 千 2 百億強、従業員 1 万 2 千人を超え、まさに地域経済を支える産業に成長してきております。

そして現在も、中央、地域を問わず、企業の IT 投資・IT 需要は旺盛で、人材の不足も依然として顕著です。

投資の領域でみますと、これらの投資は「社会を動かしている基幹業務を実現するインフラ的な領域（しっかり支える IT）」が多いと思われませんが、次第に、「最先端の技術で新たなビジネス価値を実現する領域（攻める IT）」にシフトしつつあるといわれています。

すなわち時代は「デジタルトランスフォーメーション」に向かっていると考えられ、われわれ事業者としても、その推進、加速に大きな役割を果たすことが求められています。その役割自体も、端的に言えば、「ソフトウェアをつくる」から、それだけではなく「お客様と価値をつくっていく」との「両輪」への転換を迫られているとも言えます。

ところで月曜日の日経新聞に興味深い記事が掲載されておりました。内閣府がまとめた（2009 から 2015 まで）県別の実質成長率比較で、驚くことになると宮城県がダントツ、全国一（21%）だったのです。（東京 21 位、7.6%）よく見ますと岩手が 3 位なので、大震災の復興事業が大きく、

建設業が押し上げている結果、ということがわかります。

それらが一段落する今こそ、いよいよ我々 IT 事業者の活躍の出番だと思うのです。きめ細かい ICT 利用促進による地域経済底上げから、「デジタルトランスフォーメーション」を先導し産業として成長・発展することによる地域貢献に至るまで、事業者が取り組むべきことは多いと思います。

昨年来、MISA としてそのような問題意識のもと、既存の重要な事業活動に加え、人財確保育成などの分野で様々な新規の事業を、試行錯誤を重ねつつ計画・実施中であり、東北経済連合会さんのスローガンは「わきたつ東北」ですが、それにならえば我々の盛り上がる広範な活動も、まさに「わきたつ MISA」といえるのではないのでしょうか。

しかし、「わきたつ」ばかりではやがて干上がりますので、ここはぜひ、「新しい具も工夫してどんどん投入」「だしを加え、十分利かして」さらに高いレベルの活動にしていきたいと思います。

MISA は東北および県内最大の IT 業界団体ですが、関係各位の密接な連携のもと、さらなるトップランナーに成長したいと思います。

一層のご協力・ご支援を賜りたく、よろしくお願いいたします。

それでは、今年が皆様にとって良き年になりますよう祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。ありがとうございました。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

東北経済産業局 地域経済部 部長 蘆田 和也 氏



日頃から経済産業行政にご支援・ご協力をいただき改めて御礼申し上げます。

また、本日の賀詞交歓会出席者 300 人、会員規模が本日で紹介の 13 社を加え二百数十社となり、大きな活動をしていただいていることに感謝申し上げます。

私ども、先週に今日乾杯いただく青木先生が会長を務められている、マシンインテリジェンス研究会と共催で、人工知能、AI をテーマにセミナーを開催いたしました。その時も MISA の会員をはじめとして多くの人に参加いただき大変盛り上がりしました。その中で産総研のコンソーシアム活動なども紹介いただきましたが、AI とか IoT というキーワードの中で全国においては既に具体的な案件創出というフェーズに入ってきているのかなと感じております。そういう意味で、当地域も全国とうまく連携し、高いポテンシャルを活かしながら AI や IoT を

活用したイノベーションが加速するのではないかと、大いに期待してところでございます。

この場をお借りして皆様に関係が深いと思われる施策を 4 点ほどご紹介させていただきます。

一つ目は、消費税軽減対策です。いよいよ今年の 10 月、消費税 10% への引き上げが予定されており、その対応のために中小企業や小規模事業者の方々に対して、複数税率対応のレジの導入や EDI の受発注システムの改修・入れ替えなどに対する補助金を用意させていただいておりますので、ぜひご支援いただければと思います。

二つ目は IT 導入補助金です。昨年度もご活用いただいておりましたが、昨年度の実績は、全国で 6 万 2,901 件、東北では 2,706 件の 4%、宮城県では 937 件が採択されております。この度の補正予算では、100 億円が用意され、上限が 50 万円から 450 万円に拡大され

ております。しかも下限が40万円で1/2の補助ということで採択件数が減るのではとっておりますので、早めにご準備いただき、しっかりご活用いただければよろしいかと存じます。

逆にホームページ作成などの少額のものにつきましては、別途、小規模事業者向けの持続化補助金ということで、上限50万円の2/3補助という200億円が用意されていますので、組み合わせてお客様ごとにご活用いただければと思います。

三つ目は、コネクテッド・インダストリーズ税制、いわゆるコネイン税制ですが、これは昨年創設されております。これはデータ連携や利活用、あるいは生産性向上に対する取り組みに関するシステム、センサー、ロボット、これに繋がる工作機械などの自動化装置などについて、税制措置、特別償却30%、または税額控除3%といった

ものを平成32年度末までに用意させていただいております。こちらのほうは、中小企業に限らず大企業にも活用が可能ですので、ぜひ多くの事業者にご利用、ご紹介いただければ幸いです。

四つ目は、SMEサポーターということで、中小企業の実産性向上に資するITツールを提供するベンダーの皆様を情報処理支援機関として認定し、公表していくことを始めさせていただいております。現在、スマートSMEサポーター制度の中には全国で209、宮城県で4社に登録いただいております。ぜひMISA会員の優良な事業者の皆様がたくさん登録いただければと思います。

最後になりましたが、今年もMISAの皆様のご活躍とご参会の皆様のご健勝を祈念いたしましてごあいさついたします。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

宮城県経済商工観光部 部長 吉田 裕幸氏



皆様方には、日頃から本県の富県戦略の推進そして産業の振興・発展に多大なるご理解、ご協力を賜り心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、IT産業ですが、本県の富県戦略において極めて重要な産業でございます。先ほどの挨拶でありましたように全国ランクトップ10に入っている産業でございます。宮城県の富県推進を牽引していただいております大事な産業の皆様でございます。

最近、IT関連企業の立地も促進されておまして、大いにご期待を申し上げておるところでございます。

また、富県戦略について少しだけ申し上げますと、これまでの企業誘致を中心に1万8000人の新たな雇用が創出されたところでございます。さらに、直近の製造業出荷額は過去最高の4.1兆円ということで全国の真ん中にあります。これは10倍すると愛知県、10分の1ですと47位の沖縄県ということで宮城県はちょうど真ん中に位置づけされております。

おかげさまで、内陸部には高度電子産業や自動車産業の集積・投資が加速いたしました。沿岸部では、食品産業の集積が加速いたしまして、さらにセルロースナノファイバーや金属積層型の3Dプリンター、そしてリチウムイオン電池等、新しい産業化の芽も出始めておるところでございます。大いに期待しております。

また、東北大学キャンパスには世界最高水準の次世代

型放射光施設の整備が決定いたしましたところでございますし、また観光面で見ますと宮城県ではこの10月実績で30万人泊に達しました。これは対前年伸び率全国2位という数字でして、オール東北で見ますと100万人泊超、四国の4県、北陸の3県を超え、中部地方の5県に迫っており、今後ますますの伸びを期待しております。

ただ、課題もいろいろある中で一つだけ申しますと、雇用の確保に関しては中小企業の皆様から要望をたくさんいただいたおるところでございます。外国人労働者、法改正もありましたし、なかなか雇用を充足できないミスマッチもあり、こういったものの解消をぜひお願いしたいという強い声もございます。雇用対策としては、とすれば外国人労働者の話術不足を補うところだけに関心が行きそうですが、やはり高度電子産業やIT産業の皆様を見習って、経営資源であるプロフェッショナル人材を配置していくとか、ダイバーシティ経営をしっかりとやっていくとか、そういう攻めの雇用政策をあわせて実践していくことが必要ではないかと私自身思っているところでございまして、ぜひMISAの会員皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

最後になりますが、MISA会員企業の皆様のご業績のますますのご発展と本日ご参会の皆様の実りある1年となりますようご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

新春講演会・賀詞交歓会 来賓挨拶

仙台市経済局 次長 岩城 利宏 氏



MISA 会員企業の皆様には日頃から本市における情報サービス産業の振興・発展に多大なるご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

皆様ご案内の通り、Society5.0という言葉がよく聞かれる時代になりましたけれども、仙台市といたしましてもこのSociety5.0をかなり意識してございます。昨年8月に本市の経済成長戦略の骨子という形で成長プランをお示しさせていただいておりますが、現在その成案に向けて鋭意務めているところでございます。

その経済成長戦略2023の中に、重点プロジェクトを7つ設けておりますが、その大きな柱にSociety5.0を実現する「X-TECH イノベーション都市・仙台」を掲げてございます。様々な分野とITを組み合わせることにより新しい価値や仕組みを創造していく、そういったことが非常に大事だと思っております。Society5.0を実現するのに必要なのがITの技術、スキルだと考えております。

こうした技術向上のためのセミナーとか、本日配布しました資料にありますように、エンターテインメントとテクノロジーの組み合わせによるアイデアソンなどを行い、情報サービス産業の振興・発展を図りますとともに

他産業へも大きな効果が波及できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

皆様方と連携しながら、東北地方の教育機関を訪問するとか、IT業界の説明会、UIJターンなどの取組を通し、学生・若者の地元定着に取り組んでまいります。

仙台市といたしましては、本市だけがよくなれば良いとは決して思いませんし、東北地方の経済発展のためには、地域のIT産業の振興・発展が欠かせないと考えております。

また、今年5月には元号も変わるということで、新しい時代へ躍進する、挑戦する年になってくるのではと思います。

仙台市長も、年頭の訓示で「飛躍」「躍進」、躍という言葉を今年の一文字として掲げ、躍進していきたいと発表しております。新たな経済成長戦略に基づきまして、地域経済が躍進できますよう仙台市として取り組んでまいりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

MISAのますますの発展並びにご参会の皆様のご健勝を祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



平成31年 新春講演会・賀詞交歓会 業界団体がマネジメントする

ISMS の価値とその認証

一般財団法人 日本シーエスアール登録機構 代表理事 **土屋 慶三 氏**



情報セキュリティマネジメントシステムの誕生日

1998年、BSI（英国規格協会）が世界で初めて情報セキュリティマネジメントシステムの規格 BS7799 Part2 を発行した。当時は、情報セキュリティマネジメントシステムと呼んでいたもののリスクアセスメントと管理策のオペレーションの規格でした。マネジメントは会社の経営プロセスの中にあり、BS7799 Part2 は、経営プロセスと一体になって利用される規格でした。その後、BS7799 Part2 は、2005年に ISO/IEC 27001 として国際標準化され、2013年の改定によりようやくマネジメントシステムらしい規格になりました。

マネジメントシステムのルーツは、ピーター・ファーマディナンド・ドラッカー（Peter Ferdinand Drucker）氏が1973年に発表した「マネジメント」に書かれています。

マネジメントによってもたらされる3つの価値

1つ目は、組織特有の目的と使命を果たすことであり、本業を通じて社会的に有用な存在になることを求めています。

2つ目は、仕事を生産的なものにし、働く人たちに成果をあげさせることです。

3つ目は、社会に与える影響を扱い、社会的責任を果たすことであり、善行でなくともせめて社会を害することのないようにすることを求めています。

ISO9001（品質マネジメント）でも ISO14001（環境マネジメント）でも ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）でもマネジメントシステムと名が付く以上、皆これが目的になります。

また一方では別の動きもありました。

1980年に OECD（経済協力開発機構）から個人情報保護

に関するガイドライン（OECD プライバシーガイドライン）が発行され、それに対応するために2005年に個人情報保護法が施行されました。このころから法律の順守が情報セキュリティの重要な Issue（関心事）と認識され、やらなければならないことが最初から決まっているオペレーション中心の ISMS、PMS が台頭することになります。3つの価値はどこかへ行き、やらなければならないことの増殖を防ぐこともできず下記のような多くの都市伝説が生まれてしまいました。

1. パーティション、覗き見防止フィルターなど同僚にも見せない管理が登場

しかし、一方では人同士の相互の関係が薄れることによって様々な事件が発生しています。

- ✓ 検査データ改ざん
- ✓ 情報の不正コピー
- ✓ 仕事以外の活動の不正

御座りになるセキュリティ管理

- PC、書類、その他メディアの持ち出し承認
- アカウントの見直しとパスワードの期限の設定 6桁で英数記号混合のパスワードが 54日 で破られる →故に 30日 毎に変更？
- 何年見直し続けても変わらない詳細リスク分析の繰り返し
- 採用するしかない委託先の評価の形式化
▷ 宅配、郵便
- パソコンに空いている穴（USB等の各種ポート）から洩れる情報をマスキングテープで護る

都市伝説ではなく組織の状況をマネジメント

例えば、IT業界では、ソフトウェア開発、技術者の派遣・常駐、データセンター及びシステム運用、コンサルタントを





例にとると；

- 事業上の機会とリスクはITに依存。
- 個人情報、できるだけ保有しないよう管理の工夫がされていることが多い。
- ベンチャーが多く事業の継続（BCM）より今の仕事のパフォーマンスが大切。
- 仕様を決めるためお客様に訪問することが多い。

情報セキュリティの施策は、都市伝説の採用から始まるのではなく上記のような業界団体としてのIssueから社会に与える影響を鑑み、あるべき姿を定義することが重要です。

業界団体としてあるべき姿を団体認証で定義

- 業界団体認証の最大のメリットは、業界で1つのマネジメントを共有することです。

▷ 業界に精通している管理センターが団体認証事務局を務め、セントラライズされた「社会性」の底上げが期待できる。

- ✓ その効果は、都市伝説に惑わされることなく業界のIssueの共有を促すことが可能になる。
- ✓ 業界共通のセキュリティ施策に関しては会員各社が悩む必要はなく、管理センターが教えてくれる。

従って、

▷ 会員各社は、当たり前の「組織特有の目的と使命を果たすこと」と「仕事を生産的なものにし、働く人たちに成果をあげさせること」のマネジメントに専念することができる。

更に、

- 個々の会員企業が払うコストの削減につながる。
- 会費制によって個別に認証を取得する場合の1/3以下の負担ですむ。（実績値）

認証をスタートラインと考えた場合、団体認証は、管理センターのサポートもあり、安くて楽な認証と思われるかもしれませんが、本来の目的がマネジメントであり、前出の3つの価値の実現と考会会員組織のゴールを設定した場合、達成はそんなに優しくはありません。

- 会員各社が達成すべきこと。

▷ リスクアセスメントで3つの価値を阻害する要素を特定。

- ✓ 本業のボトルネックは？
- ✓ 生産性を落としていないか？
- ✓ 社会を害することは？

管理センターから指導されたこと+αを見つける。

▷ 機会を実現するためのリソースを配分する。

▷ それらのマネジメント、及びそれによって変化するプロセスを検証（内部監査を重要視）。

本方式は、一般社団法人日本シーエスアール登録機構のプロセスとして確立したものであり、国際的な認定機関であるJAS-ANZによってその枠組みが他の認証に劣らないものであることが立証されています。

JISSAの認証はトライアルでJAS-ANZの認定を利用しましたが、今後はこの国際的に認められたスキームを崩すことなく進化を遂げられるよう努力し、様々なコーポレートグループに広げながら社会に貢献して行きたいと考えます。



問い合わせ先：一般社団法人日本シーエスアール登録機構

〒107-0052 東京都港区赤坂7丁目2番17号102号室

T E L : 03-6804-1239

Email : JCSR.Keizo.Tsuchiya@jcsr.co.jp



イーストライズ株式会社

EAST RISE

地方よりITを通じて顧客にValueを提供する



©1998 VEGALTA

イーストライズ株式会社はベガルタ仙台を応援しています。

<http://www.east-rise.com>

2019年度 委員会別事業計画

委員会名	4月	5月	6月	7月	8月	9月
経営 (企画G)			・理事会(第29・30回) ・第8回総会 ・講演会&パーティ		・顧問・参与懇談会 ・事業運営会議(第2回)委員会	
経営 (経営G)	・経営強化 経営者や経営幹部が学び合う場の提供 ・親睦ゴルフ大会(春季)	テーマ選定 (実施内容検討) ・MISA交流サロン委員会		講師依頼 (準備) ・Misaliy女性交流会委員会		・MISA交流サロン委員会
人財 (確保G)	・学生向け啓蒙活動 (1)業界研究講座(随時) (2)インターンシップ (3)小中高対象プログラミング教室 ・企業向け支援活動 採用・人材紹介 ・教育機関との連携 大学との連携会議他		(随時対応) ・連携会議委員会	・教室開催	・インターンシップ体験型実践的研修 ・教室開催	・新卒対象企業訪問
人財 (育成G)	・新入社員向け研修 (認定職業訓練) ・中堅社員向け研修 ・技術研修(技術向上セミナー) ・人材育成活用分科会(毎月開催) ・地域イノベーションリーダー支援 委員会	研修実施 委員会	・新入社員研修・特別企画 (準備)委員会	・中堅社員研修(1)委員会	・フォローアップ研修 ・中堅社員研修(2)委員会 ・研修会委員会	(次年度計画) ・中堅社員研修委員会
福利厚生	・交流・レクリエーション関連 ①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・ヘルスケア ・福利厚生事業の広報活動 委員会	①スポーツイベント等開催 ②船釣り大会開催 ③新企画・検討 ・新人研修 (HP、情報誌等活用による広報展開) 委員会	・フットサル開催(夏大会) ・船釣り大会① 委員会	・企画検討会委員会		・船釣り大会② ・企画検討会委員会
事業共創	・異業種研究会(交流会)への参加 ・ビジネスマッチ活動 ・大学・行政連携タスク ・新研究会テーマ(新規ビジネス研究会・農商工ビジネス研究会) 委員会		(みやぎ工業会活動への参加) ・経産局説明会開催 委員会			・異業種交流セミナー委員会
ビジネス推進	・ビジネスチャンスの創出 ・地域貢献 委員会		委員会		委員会	
グローバル ビジネス		(開催内容の検討)	委員会	・準備作業 委員会	委員会	
広報	[協会情報誌の戦略的活用(協会パンフレット)、 ・情報誌発行(第45号) 委員会		委員会		委員会	
政策提言	・政策提言検討推進等 ・次期中期計画の策定と推進					
組織基盤強化	・産業構造変化への対応等					
事業運営強化	・地域高度IT技術者の確保・育成					

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	・IT商品カタログ作成	・事業運営会議(第3回) 委員会		・理事会(第31回) ・賀詞交歓会 ・講演会		・理事会(第32回) ・事業運営会議(第4回) 委員会
		・体質強化セミナー実施	・法的問題対応セミナー			
	・親睦ゴルフ大会(秋季)	委員会		・Misaliy 女性交流会		・MISA 交流サロン 委員会
説明会	・転職者対象採用支援 委員会	・連携会議 委員会			・連携会議 委員会	
検討)			○会員アナウンス		(準備)	
(3)	・中堅社員研修(4号議案) (準備)	・中堅社員研修(5) ・技術向上セミナー ・研修会 委員会	・中堅社員研修(6)		・研修会 委員会	
	・フットサル開催(秋大会)	・企画検討会 委員会	・船釣り大会③	・企画検討会 委員会	・メンタルヘルスセミナー 委員会	
セミナー		・イベント開催 委員会				
			委員会		委員会	
	・イベント開催 委員会		・評価・まとめ 委員会			・ICTカンファレンス2020
Aカンファレンスに向けた広報活動等]	・情報誌発行(第46号) 委員会		委員会		委員会	
				・理事会報告		

事務局からのお知らせ

IPA主催第14回「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」2018に参画

標記コンクールは情報モラル・セキュリティをテーマとした標語やポスター、4コマ漫画の創作活動を通し、全国の小・中・高生達がインターネットの安全利用等を意識する目的で、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が主催し開催しているもので、第10回より当協会も趣旨に賛同し後援を行ってなっております。

地域賞（宮城県内）として、事務局長が代表し下記の通りMISA会長賞を選出、平成31年1月11日、表彰式を行いました。

地域賞選定作品



ポスターの部



4コマ漫画の部

部門	作品	生徒名	学校名
標語	情報のモラルを守れば まもられる	尾野 幸輝	宮城県立松島高等学校
ポスター	常に疑って 貴方の相手は本物ですか?	庄子 春華	宮城県立松島高等学校
4コマ漫画	見てほしかった。	菅野 志帆	聖和学園高等学校

事務局からのお知らせ

「IT導入支援事業者」登録募集のお知らせ

経済産業省では、中小企業・小規模事業者などの皆様が自社の課題やニーズに合ったITツール（ソフトウェア、サービス等）を導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売り上げアップをサポートする「IT導入補助金」の活用を推進中です。

これらを積極的に推進していくため、ITツールの提案・導入及びこれに要する各種申請などの手続きを代理で行う「IT導入支援事業者」を募集することとしています。

「IT導入支援事業者」になるためには事前登録が必要です。

◆IT導入補助金の概要

- ・上限額：450万円
- ・下限額：40万円
- ・補助率：1/2

◆事業スケジュール

- ・登録申請：2019年4月15日開始予定
- ・採択発表：随時
- ・ITツール（ソフトウェア、サービス等）等の登録申請：2019年4月19日開始予定

詳しくは下記に問い合わせください。

サービス等生産性向上IT導入支援事業コールセンター 0570-666-131

受付時間 9時30分～17時30分（土・日・祝日を除く）

宮城県からのお知らせ

移住支援金の支給対象法人を募集します！

「移住支援金」とは

- ◆東京 23 区（在住者または通勤者）から宮城県内に移住し、宮城県に登録された法人に新規就業した方に移住支援金を支給する制度です。（世帯移住は 100 万円、単身移住は 60 万円）
 - ◆移住支援金の対象法人となるためには、事前登録が必要です。
 - ◆登録された法人の求人情報は、宮城県が運営する「みやぎ移住ガイド」と大手民間団体求人サイトに掲載されます。
- ※「みやぎ移住ガイド」（求人掲載無料） 登録申請の様式がダウンロードできます。
<https://miyagi-ijuguide.jp/>

移住支援金の支給対象法人となるメリット

求人情報の作成支援など採用にかかる コストや時間が削減できます

- ・宮城県へ移住・就職を考えている方向けの情報サイト「みやぎ移住ガイド」に法人の求人情報を無料で掲載できます。
- ・法人の求人内容に関するヒアリングを実施の上、掲載する求人情報の作成支援をします。
- ・首都圏の移住相談窓口「みやぎ移住サポートセンター」の相談員が、法人の魅力などを詳しく説明しながら UIJ ターン求職者とのマッチングを図ります。

登録法人はサイトに登録された UIJ ターン求職者情報が閲覧可能です

求人情報は大手民間求人サイトにも掲載されるため高い広告効果があります

登録申請が可能な法人の要件

1. 製造業、農林水産業、宿泊業、情報通信業、医療・福祉または各市町村が地域の担い手として重要と考える産業
2. 官公庁などでないこと
3. 資本金 10 億円以上の法人でないこと
4. みなし大企業でないこと
5. 本社所在地が東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）以外の地域又は条件不利地域にある法人であること
6. 雇用保険の適用事業主であること
7. 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に定める風俗営業者でないこと
8. 暴力団等の反社会的勢力又は反社会的勢力と関係を有する法人でないこと
9. その他
 - ・「みやぎ移住サポートセンター」の登録者を雇用するものであること
 - ・週 20 時間以上の無期雇用契約であること
 - ・移住支援金受給者が宮城県内への移住を原則として 5 年以上継続できる職であること

◆お問い合わせ先

法人登録市町村窓口にて申請登録の受付は 2019 年 4 月に開始し、5 月 17 日（金）まで受け付けます。詳細は下記までお問い合わせ願います。

宮城県震災復興・企画部地域復興支援課 電話：022-211-2454

「みやぎ発展税」活用施策

1 | 産業振興

- ①企業集積促進
- ②技術高度化支援
- ③中小企業・小規模事業者活性化 **新**
- ④人材育成促進
- ⑤人材確保支援 **新**
- ⑥地域産業振興促進

みやぎ企業立地奨励金

県内に工場などを新増設した企業に対し奨励金を交付しました。

- 交付件数：161件 [平成21～29年度累計]
- 奨励金による新規雇用者数：13,641人

[平成30年4月現在]



大和町に立地した、納豆容器など国内トップシェアの株式会社コバヤシ

産業振興型保育施設整備緊急加速化事業
ものづくり産業における働きやすさ向上のため、工業団地内における事業所内保育施設などの整備を助成しました。(平成29年度より開始)

- 交付件数：1件 [平成29年度]



「みやぎ発展税」を活用して保育備品、防犯対策用フェンス等を整備したトヨタ自動車東日本株式会社に設置された保育施設(ゆうゆう保育園みやぎ)

2 | 震災対策

- ①災害に対応する産業活動基盤の強化
- ②防災体制の整備

宮城県防災指導員養成講習

地域や企業における防災リーダーを養成する講習などを行いました。

- 地域防災コース等：5,888人[平成20～29年度累計]
- 企業防災コース：871人[同上]

「みやぎ発展税」は、「富県宮城の実現」に向けた産業振興や、震災の被害最小化に向けた対策を推進するため、平成20年3月から実施期間を5年間とする法人事業税の超過課税制度として導入しました。

この成果として、自動車関連産業や高度電子機械産業、食品関連産業などの企業集積が進展したほか、橋や建物などの耐震化が進み、東日本大震災でも大きな被害を免れ、迅速な復旧に大きく貢献しました。平成24年度に実施期間を5年間延長し、引き続き産業振興や震災対策に取り組んできました。

平成29年度には、実施期間を更に5年間延長し、平成30年度からは「中小企業・小規模事業者活性化」と「人材確保支援」の2つを施策の柱に新たに位置付け、これまでよりもさらに手厚い取組を進めていくこととしています。

ここでは、主な事業実績と成果について、ご紹介いたします。詳細は左記URLでご確認下さい。

→ URL : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukensui/9hattenzei-houkoku.html>

宮城県からのお知らせ
「みやぎ発展税」の活用実績と成果について紹介します

「みやぎ発展税」の概要

課税期間	平成20年3月～平成35年2月
(第1期)	平成20年3月～平成25年2月(5年間)
(第2期)	平成25年3月～平成30年2月(5年間)
(第3期)	平成30年3月～平成35年2月(5年間)
超過課税	県税条例第41条に定める税率(法人事業税の標準税率)の5%相当額
適用法人	県内に事務所または事業所を設けて事業を行う法人(法人事業税に同じ) (※資本金または出資金が1億円以下かつ所得金額が4千万円以下の法人は対象外)

◆お問い合わせ先

宮城県経済商工観光部富県宮城推進室

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1 宮城県庁14階

TEL 022-211-2792 FAX 022-211-2719 E-mail fukensuis@pref.miyagi.lg.jp



Tibbo-Pi ティーボパイ



タイのシェアファクトリー
でも使われている
IoTデバイス。

IoTの普及促進は、全国のソフト屋さんにかかっている！

IoTという言葉が認知されていなかった2013年ごろ、運良くハードウェアエンジニアがいた当社がIoTシステムの開発をいくつも受けていく中で強く感じていたことがあります。それは、IoTが社会インフラになる可能性を秘めた成長産業だということ。そして、この産業はソフト屋さんが牽引することが社会的に必要不可欠だ、ということです。

私たちソフト屋が、IoT産業を牽引するためには？

ソフト屋がIoT案件に対応するために必要なのは、ソフト屋のナレッジベースでハードウェアを理解できる環境の構築とハード屋さんと連携するための基礎知識の習得です。そこで当社では、Linuxベースで動く「Raspberry Pi」にアドオンし、**オブジェクト指向で実装基板と組み込みソフトの開発ができる「Tibbo-Pi」を開発・製造・販売し、「IoTハンズオンセミナー」も開催しています。**

使えばわかる“簡単さ”と“難しさ”。

IoTの活用には、幅広い分野のナレッジが必要です。「経営・業務系コンサルティングナレッジ」「ソフトウェア・ネットワーク系ナレッジ」「ハードウェア系ナレッジ」。大きく分けるとこの3つの分野です。当然1社だけで担うことは非常に困難で、ここにIoTビジネスの難しさがあります。

ですが「Tibbo-Pi」を活用するとこの分断されている専門的なナレッジを、柔軟かく繋ぐことができ、各分野のプロフェッショナルが連携してIoTシステム・製品・ソリューションの提供をすることができるようになります。

始めています！「ビジネスの共創」

当社も参画している「みやぎIoTビジネス共創ラボ」は、IoTの普及を目指す「IoTビジネス共創ラボ」の地域グループです。各社の専門ナレッジとニーズを共有しビジネスの共創・協働を実現しようとしています。ぜひ一緒に共創・協働しませんか？ お気軽にご連絡ください！



株式会社コー・ワークス
<https://co-works.co.jp>



みやぎIoTビジネス共創ラボ

「一般企業にとって、ソフト屋もハード屋もIoT企業。当然、IoTの相談窓口になるのは、その顧客に一番近いIoT企業なんです。ソフト屋である当社がそうでした。だから、ソフト屋がIoTの仕事ができるよう、Tibbo-Piを作りました。」

「スポーツ×IT×地域」アイデアソン

事業共創委員会では2018年11月に、ITを活用した新たな価値の創造、他業種との課題共有と人材交流・創発をねらいとして、アイデアソンイベントを開催しました。

「スポーツ×IT×地域」アイデアソン

- 開催日：2018年11月17日（土） 9：30～18：00
- 場 所：EARTH BLUE 仙台勾当台 会議室
- 参加者：MISA 会員企業のメンバーほか 17名

同イベントでは、楽天イーグルス、ベガルタ仙台の関係者にご参加いただき、地域密着への取組や今後の課題などを共有した上で、参加者がグループに分かれ、さまざまなアイデアを出し合い、新たな価値の創出に取り組みました。

1日間という限られた時間の中でしたが、ファシリテータのサポートでメンバー間も打ち解け、やわらかアタマで発想も拡がり、各チームとも非常に活発な議論が行われました。最後に行われたチーム別プレゼンでは、それぞれユニークな視点で課題への解決案が発表され、とても充実した時間となりました。

イベントにご参加、ご協力いただいた皆様へ感謝申し上げます。

<受賞チーム>

◆MISA 賞、ベガルタ賞 ※W受賞

- ・ NEC ソリューションイノベータ
関口さんチーム

テーマ「泉まるごとベガッタ区」
～地域に根ざしたチームになるために～



◆楽天賞

- ・ BITS 大森さんチーム（楽天）

テーマ「楽天 One for all」
もう一人での応援でもさみしくない、
ポッチ席で会いましょう！



委員会報告

ICT CONFERENCE 2019を開催しました

グローバル
ビジネス
委員会

平成31年3月13日(水)14:00より、せんだいメディアテークにおいて、MISA グローバルビジネス委員会主催による「ICT CONFERENCE 2019」を開催いたしました。

“新たなビジネスの創出にむけて”をコンセプトに、任天堂 Wii の開発で大きな役割を担った、わかる事務所代表の玉樹真一郎氏、収納サービス「サマリーポケット」を展開する(株)サマリー代表取締役社長の山本憲資氏をお招きし、ご講演いただきました。

玉樹氏からは顧客に伝わるコンセプトの重要性を作り手は強く意識すべきとの指摘が、山本氏からは社会の負を解消するという視点がビジネスの起点になるという啓蒙がなされました。

当日は83名の参加者のもと盛況のうちに閉会となりました。



委員会報告

JISA連携オンライン講座

人財
委員会

- ①「実践サービスデザイン」 2018/11/16~12/21 (うち、集合ワークショップ11/16・12/21)
仙台会場：8名、東京会場：11名
- ②「アジャイル開発の基本」 2019/2/1~3/16 (うち、集合ワークショップ3/2)
仙台会場：7名、東京会場：11名

本講座は、JISA〔(一社)情報サービス産業協会〕と連携し、全国初の試みとして

- ・e-learning
- ・東京と仙台をテレビ会議接続した集合ワークショップの同時開催
- ・グループウェアによる受講者間のオンラインディスカッション (①のみ)

を組み合わせ実施しました。

今後、デジタルトランスフォーメーション(DX)の時代に求められる様々なステークホルダー、専門家による参画型でのプロジェクト推進の体験も兼ねた構成とし、かつ、首都圏と連携することによる地方での研修開催負担の軽減も狙いました。

「実践サービスデザイン」受講者からは、講座内容に対する気づきのほか、遠隔メンバーとのディスカッションの利点や難しさなど、また、「アジャイル開発の基本」受講者からは、e-learningで学んだことが集合ワークショップで理解が深まり、アジャイル開発に取り組んでいる他社メンバーと意見交換できたなどの感想が寄せられました。

人財委員会では、引き続きJISA等と連携しながら地域IT人財のスキルアップを図ってまいります。



第15回 MISA 会長杯フットサル秋大会

第15回 MISA 会長杯フットサル M リーグ秋大会を10月27日(土)リベラ鶴巻で開催しました。朝から雨であいにくの天候でしたが、M1(エムいち)8チーム、M2(エムに)8チーム、M3(エムさん)は、今回初参加のコンピューターサイエンスチームを含め4チームの20チーム233名の参加による戦いとなりました。本番に先立ち10月10日にはキャプテン会議を開催し各クラスの昇格・降格ルールのもと、M1、M2、M3のカテゴリーを決定しました。試合は、各チームの実力が伯仲してきており各カテゴリーでの熱戦が繰り広げられましたが、今回は特に、女性選手の活躍そして50才以上の選手のガンバリが大変に目立った大会でした。ルール上、女性選手と50才以上の選手のゴールは2得点となることから試合の結果に大きく影響します。女性選手にファールをしてPKとなったことで勝てなかったチームや50才以上の選手の活躍で10点と2桁得点で勝利したチームなど勝敗が左右されました。

結果はM1がコンピューターマネージメントチーム、M2がNTTデータ東北チーム、M3がNECソリューションイノベータチームの優勝で終了しました。試合後のお楽しみ豪華抽選会も恒例となり、午後には天気もぴかーっと晴れて、大盛況で大会を終了することができました。

駐車の関係で近所からクレームをいただく課題も残りましたが、引続き多くの選手・応援の皆さんが参加できる楽しい大会となるよう企画しますので、各チームの絶大なるご協力をお願いいたします。



◆M1 結果

- 優勝 コンピューターマネージメント(株)
- 準優勝 東北インフォメーション・システムズ(株)
- 3位 (株)アート・システム
- (株)Minoriソリューションズ
- C優勝 (株)NID東北

M1 優勝 コンピューター
マネージメントチーム

◆M2 結果

- 優勝 (株)NTTデータ東北
- 準優勝 (株)ケーヒンエレクトロニクステクノロジー
- 3位 通研電気工業(株)
- (株)フリースタイル
- C優勝 (株)ステップ



M2 優勝 NTTデータ東北チーム

◆M3 結果

- 優勝 NECソリューションイノベータ(株)
- 準優勝 (株)東日本技術研究所
- 3位 サイバーコム(株)
- 4位 コンピューターサイエンス(株)
- ※C優勝 コンソレーション優勝(敗者復活戦)

M3 優勝 NECソリューション
イノベータチーム

委員会報告

経営
委員会

第35回 MISA 親睦ゴルフ大会

- 開催日：平成 30 年 10 月 13 日(土)
- 場 所：西仙台カントリークラブ

第35回 MISA 親睦ゴルフ大会は、宮城の名門「西仙台カントリークラブ」で開催しました。天気にも恵まれて素晴らしいゴルフ日和の中で14組56名が参加し、日頃の腕前を競い合い和気あいあいと会員間の親睦を深めるゴルフ大会となりました。



【成績】(敬称略)

NET HC

- 優勝：富樫 孝史 様 (72.4) (15.6) (株)東北電子計算センター
 準優勝：小野寺伸晃 様 (72.8) (13.2) (株)ブレイド
 第3位：久保田秀一 様 (73.6) (8.4) (株)テスプロ(バスグロ)
 第4位：小野 堅 様 (73.6) (20.4) (株)エヌ・シーエス
 第5位：佐藤 崇 様 (73.8) (19.2) (株)ビッツ



ITで、
感動を、
ともに。

私たちTOINX(トインクス)は、ITで実現する新たな価値を地域社会に届け続けます。ともに手をとりあい、どんな時も誰よりも近くで、しっかり支え、キッチリ守ります。さらに、一歩踏み込んだ提案をし、期待をこえる感動を届けます。

トインクス
TOINX
ITで、感動を、ともに。

東北インフォメーション・システムズ株式会社

Q トインクス

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番10号 セントレ東北
TEL 022-799-5555 FAX 022-799-5561

委員会報告

ナメタ五目釣り大会 in 塩釜沖大型漁礁

福利厚生
委員会

2018年12月22日(土)に『MISA主催：ナメタ五目釣り大会 in 塩釜沖大型漁礁』を開催しました。

寒さを感じない猛者22名が塩釜港より乗船し、1時間を掛けて漁場に向かいました。

当日の天気は快晴、波も穏やかで最高の釣り日和となりました。

釣果は、経験者の方々ばかりだったこともあり、本命の高級魚ナメタガレイの入れ食い状態でみなさん大いに楽しんでいただけました。

【大会結果!】

- 優勝：47.2cm 佐々木 順 様
(株)システムネットワーク
- 2位：43cm 宮城 聡 様
(株)アテネコンピュータシステム
- 3位：42cm 門馬 敏仁 様
東北インフォメーション・システムズ(株)
- えびす屋賞：41.5cm 佐藤 徳幸 様
東北アースシステムズ(株)



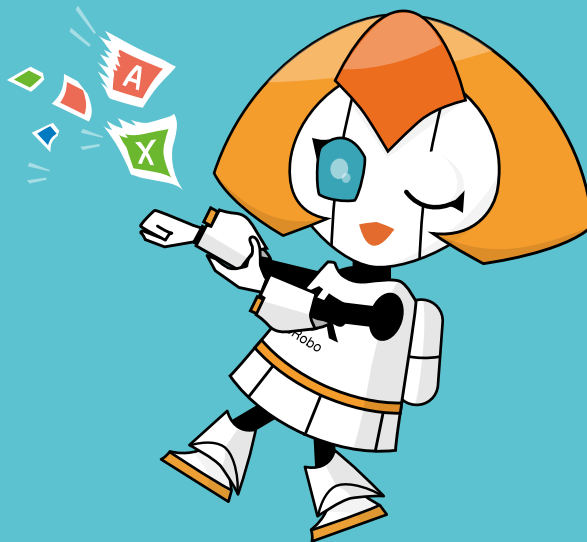
働き方改革の実現!

Realization of work style reforms

“オブジェクト型” RPA で

気軽に作業の自動化!

その
残業
私が代わります



普段づかいの

ミノロボ

Google Chrome™制御も対応!

RPA MinoRobo® + ERP BPM

Robotic Process Automation

株式会社 Minoriソリューションズ



【東京本社】〒163-0817 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル17F

【仙台】〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町2-1-2 NMF仙台青葉通りビル6F

TEL: 022-261-6331

e-mail: info-airpa@minori-sol.jp

https://minori-sol.jp/

minorobo

検索



芋煮ケーション2018を開催しました

ICT 業界研究、魅力発見を目的とした新しい就職活動イベント「芋煮ケーション2018」を2018年10月6日に開催しました。

午前の部では有限会社伊豆沼農産 代表取締役 伊藤秀雄氏より「農産業によるICTの活用」を講演頂き、将来のIT技術者をめざす学生にとって良い刺激となったようです。

午後の部の芋煮会は学生・企業ともに活発な交流が行われており、学生アンケート結果も満足度100%と大変好評でした。

来年も開催するのでぜひご参加ください。

- <開催日> 2018年10月6日(土)
 <会場> 秋保リゾートホテルクレセント
 <動員客数> 学生51名/企業46名
 <講演者>

- 1: 農業生産法人 有限会社伊豆沼農産
 代表取締役 伊藤 秀雄 様
 2: 株式会社 Sola.com
 代表取締役 高橋 洋人 様



第1回

IT
あるある
川柳

MISA 会報 45 号「IT あるある川柳」に今回初の試みで、16 名の方より 38 作品のご応募をいただきました。MISA 事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品 1 点、準グランプリ作品 2 点と佳作 5 点には QUO カードがそれぞれ贈呈されます。

👑
グランプリ

プログラム 年の数ほど バグを出す

(株) プロトソリューション 大友 馨様

👑
準グランプリ

ババスマゲ 孫はネットゲで ジジネットケ

システムニコル(株) 田代 紀生様

帰ろうと 電源落とす 電話鳴る

(株) アート・システム 鳥澤 強志様

👑
佳作

未保存の ファイルが固まり 白くなる

東北デイジーエス(株) 日景 大輔様

わからない フリして無理を 強いてくる

(有) マインドアクセス 今野 寿道様

解像度 上がり化粧も ウデあげる

ハリウコミュニケーションズ(株) 後藤 敏道様

夜食買う おつりが¥256で キリがいい

システムニコル(株) 齋藤はる奈様

お年玉 QR 決済で もらう孫

(株) ハイパーソリューション 武田 圭司様

会員異動状況 (平成30年10月1日以降の入会関係)

■ 正会員 - 入会

■ 賛助会員 - 入会

会員数 (正会員……172社 賛助会員……44社)

入会日	会員名 (代表者名)	住所 TEL・FAX
10月1日	東北アースシステムズ (株) (代表取締役 佐藤 徳幸)	〒980-0011 仙台市青葉区上杉 3-1-15 TEL 022-703-3203
10月1日	(株) 日本プレースメントセンター (代表取締役社長 小山 哲郎)	〒104-0045 東京都中央区築地 2-12-10 築地 MFビル 26号館 TEL 03-3546-3633 FAX 03-3546-3644
10月5日	(株) エム・エス・アイ (代表取締役 金子 昌弘)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-3-10 仙台本町ビル 4F TEL 022-399-9894 FAX 022-399-9893
3月31日	(株) ハイテックシステム (代表取締役 土屋 浩)	〒990-0023 山形県山形市松波 1-16-7 TEL 023-628-9455 FAX 023-628-9456
3月31日	サイボウズ (株) (代表取締役社長 青野 慶久)	〒103-6027 東京都中央区日本橋 2-7-1 東京日本橋タワー 27F TEL 03-4306-0808 FAX 03-5539-4861
10月2日	(株) アクロビジョン (代表取締役社長 末光 正志)	〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-35-3 池袋センタービル 8F TEL 03-6661-0912 FAX 03-6661-0913
11月27日	RPAテクノロジーズ (株) (代表取締役社長 大角 暢之)	〒107-6013 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 13F TEL 03-3560-6533 FAX 03-3560-0785
11月27日	i (株) (代表取締役社長 細矢 隆明)	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-6-4 第三カネタツビル 702 TEL 03-6231-0886 FAX 03-6231-0887

(敬称略)

MISA フォトコンテスト結果報告

テーマ:『宮城の平成を振り返って……』

MISA 会報 45号フォトコンテストに、会員企業の5名の方より13作品のご応募をいただきました。MISA事務局と広報委員会の投票による選考結果でグランプリと準グランプリが決定いたしました。グランプリ作品1点には商品券、準グランプリ作品2点と佳作2点にはQUOカードがそれぞれ贈呈されます。

 表紙に
掲載

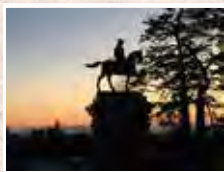
グランプリ

「東日本大震災の年の七夕」
システムニ科尔 (株)
田代紀生 様

準グランプリ

「次の時代へ」

東北システムズ・サポート
山内祐治 様



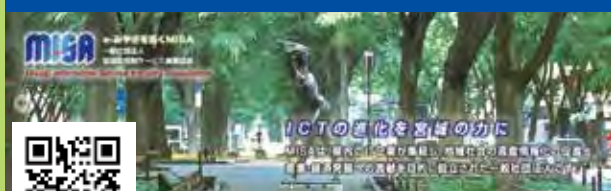
準グランプリ

「ページェントは
昭和からですが」
(株) アート・システム
鳥澤強志 様

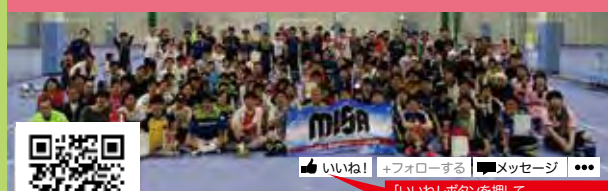


MISAでは、ホームページ・Facebookページより情報発信を行っています。是非ご覧ください！

MISA ホームページ


 ホームページURL <http://misa.or.jp/>

MISA Facebookページ


 FacebookページURL <https://www.facebook.com/miyagi.misa>